

スポーツYAMATO

矢崎3塁打

第4節直前オーブン戦 好調ドリムに連勝



今年3月、初打席初塁打と
言う衝撃的な美業団デビュー
を飾った思い出の地、『一宮市極楽寺公園野球場』に再び来た矢崎月菜は「結果を考えずとにかく全力で思いっきりプレーする」と語った。正一塁手宮崎の戦線離脱で急造一塁手としてオーブン戦で矢崎は試合に出続けているが、慣れない一塁の守備に不安があり得意のバツティングにその影響が出てしまっていた。結果ばかりに気を取られ、気持ちに余裕がなく、不振のどん底にいた矢崎。しかし、4節直前最後のオーブン戦が矢崎にとつては最高の思い出がある『一宮市極楽寺公園野球場』で行われた事は矢崎の気持ちを奮い立たせ、いいきっかけになった。くれたのだろう。いきなりドリムシトリンとのオーブン戦第1試合の2回表、ランナーを1塁において矢崎に打席が回ってきた。矢崎がインコースのストレートを思いっきりよく振りぬいた打球はライト線を深々と破るタイムリー3塁打を打ち、不調を払拭するかのよう

に早々に結果を出したところはずがスーパーキーだ。矢崎は2試合目も追加点が欲しい場面でもセンターへきつちり犠牲フライを打ち、本来の持ち味である勝負強さを発揮した。矢崎にとつてはこの日のオーブン戦が思いやめじりで締めくくられた事だろう。試合後、矢崎は満面の笑顔ではあったが、まだまだ満足できない結果ではなかった様子で、来週に控えた4節に向けて更に積極性と勝負強さを出し、チームを勝利に導き、我々の期待に応えてくれることだろう。まさしく『一宮市極楽寺公園野球場』ここが矢崎のアナザースカイだ。

大串5回5K

第1試合の先発はエース大串。一時期は少し調子を落としていた大串だったが、先週の静甲とのオーブン戦から調子を上げてきた。大串本人も「先週は静甲相手に気合が入った」と次週に向けてこの日も上々の仕上がりを披露した。好調ドリムシトリン打線相手にこの日、大串自慢のストレートを最速101キロをマークし、大串は5回を投げて無失点、5奪三振を奪う好投4節直前最後のオーブン戦を絶好調のまま終えることが出来た。台風一過で一宮市の気温は30度越えに見舞われ、大串自身もだいたい暑さでスタミナを奪われたが、最後は気迫の投球で相手打線に

得点を許すことはなかった。5回裏は2つの四球を与えてピンチを招いたが、堀の好リードと大串の冷静な対応で、あえて真つ向勝負を避けて打たせてアウトを取れた点は暑さも予想される4節熊野大会では有効な策だろう。絶対的エース大串の復調はチームにとつても大きい。次週首位奪還に向けてエース大串がヒロインだ。



大依好投

エース大串の後を受けた大依が好投した。6回裏に登場した大依はエラーにより1点を失ったが、しっかりと後続を打ち取った。2試合目はきつちりと無失点に抑え上々の仕上がりがた。大依は、最近どら焼きよりも大福にハマっているようだ。